



Pachinko Diffusion Index

第 39 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごとに実施している調査。

■ 今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2009 年 12 月 15 日～2009 年 12 月 25 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 60 社

2010 年 1 月

調査結果のポイント

■ 全般的業況はマイナス 41.5 と調査開始以来最低値を更新

現況(平成21年12月)の各社の業況判断DI値は、マイナス41.5と前回調査時のマイナス38.5から、3.0ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス11.1と数値は改善もマイナス圏にとどまっている。

現況は調査開始以来最低であった前9月期のマイナス38.5を下回り、過去最低数値を更新した。

<各規模事業者ともに業況悪化>

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス54.8と前回のマイナス40.7から14.1ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス52.6と前回の40.0から12.6ポイントの悪化。大規模事業者はDI値マイナス21.9と前回のマイナス36.7から14.8ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス36.7)、中規模事業者(マイナス26.3)、大規模事業者(21.9)とそれぞれ改善、大規模事業者のみプラス圏の数値となっている。

■ パチンコ現況は悪化、低貸玉は健闘

現況の稼働状況はマイナス42.7と、前回のマイナス37.7から5.0ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)はマイナス17.1となっており、現況より大幅な改善を見込んでいるが、尚もマイナス圏にとどまっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス64.5、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス42.1、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス21.9となっている。前9月期と比べると、小規模事業者は33.7ポイントの悪化、中規模事業者は2.9ポイントの改善、大規模事業者は18.1ポイントの改善と、小規模事業者での落ち込みが目立っている。

2009年12月期より、パチンコ全体に加えて「4円パチンコ」と「低貸玉パチンコ」に分けた稼働状況の設問を加えた。「低貸玉パチンコ」では、現状、見通しともに稼働が良い企業が悪い企業を上回っている。

■ 2008年12月期以降の回復基調維持するパチスロ市況

現況の稼働状況は、マイナス24.7と、前回のマイナス39.5からは14.8ポイントの上昇となっている。未だにマイナス圏ではあるものの、2008年12月以降の回復基調を維持し、数値を上げてきている。

見通し(3ヶ月後)は、マイナス17.3と、パチンコと同様に現況より改善を見込んでいる。

■ 業界の「底打ち」時期、10年中の「底打ち」は1/3に留まる 底打ちの「条件」は景気回復と機械代の低下

ここ数年厳しい状況が続いているパチンコ業界の全般的な業況について、『底を打つ』のはいつ頃かを聞いた結果、全体では「10年中最も多くなっているものの、全体の1/3にとどまっている。09年中最も合計は8.8%となっている。中・小規模事業者では、「11年以降」との回答が3割前後でトップとなっている。

「底打ち」時期について、時期を特定せず、「ある条件が整ったとき」との回答が全体で28.1%となっている。具体的なコメントとしては、「景気回復。デフレ現象からの脱却。」、「遊技機価格の低下。射幸性(遊技単価)を抑えた遊技機の登場。」などが挙げられている。

景況キーワード

■負のスパイラル、メーカーにも飛び火か

『来店客数が減る中、店舗間競争で新台入替に走り、機械代金が重くなり、利益を取って客を飛ばす。負のスパイラルに陥っている。』との声に代表されるように、パチンコ店の置かれる状況は厳しい。

『パチンコ台の価格が低下すれば業況の回復は可能。』との声がある一方で、『遊技機の規制を厳格にした時点で、現況は予想できたと思う。今後は、ホールからメーカーに不況は飛び火する。「底は打たない』との意見もあり、今後業界全体に影響が広がることも予想される。

■低貸玉の供給過剰やファンの高齢化を懸念

低貸玉市場の拡大により、利益率が圧縮されることへの懸念ももたれている。

また、『業界全体で未経験者をいかに店舗へ誘導させるかが鍵となる。ホールが養老院化しており目先の営業を続けていくとして10年後、未来はない。』や『世代の繰り上がりがないため、20年後のモデルが不明確なビジネス。』との意見にあるように、業界としての新たな顧客獲得の必要性が叫ばれている。

<主要指標 パチンコ業界全体>

項目	D. I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1.全般的業況	-38.5	-41.5	-11.1			全般的業況は、雷雨のまま。数値は過去最低を更新。見通しは雨。
2.稼働状況(パチンコ)	-37.7	-42.7	-17.1			現況引き続いて雷雨。先行き見通しは雨。数値は過去最低に。
3.稼働状況(パチスロ)	-39.5	-24.7	-17.3			現況引き続いて雷雨。先行き見通しは雨。
4.資本投入気運の変化(台)	-24.1	-11.7	-31.7			現況引き続いて雨。先行き見通しもは雷雨に。
5.資本投入気運の変化(設備)	-6.8	-16.9	-22.0			現況は数値を下げ曇りから雨に悪化。見通しも数値を下げる。
6.営業用設備の不足感	5.1	-4.9	-7.3			設備不足感は数値を下げ引き続き雨。見通しも数値を下げる。
7.雇用人員の不足感	2.6	8.5	8.5			人材不足感はやや拡大。

注：前回現状は2009年9月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
	30.0~		-29.9~-10.0
	10.0~29.9		~-30.0
	-9.9~9.9		

全般的概要－業況

■業況判断DI値はマイナス41.5と調査開始以来最低値を更新

現況(平成 21 年 12 月の業況判断)は「良い」が 2.3 ポイント増加して 4.9%となり、「悪い」が 5.3 ポイント減少して 46.3%となり、DI指数はマイナス 41.5 と前回のマイナス 38.5 から、3.0 ポイントの悪化となった。

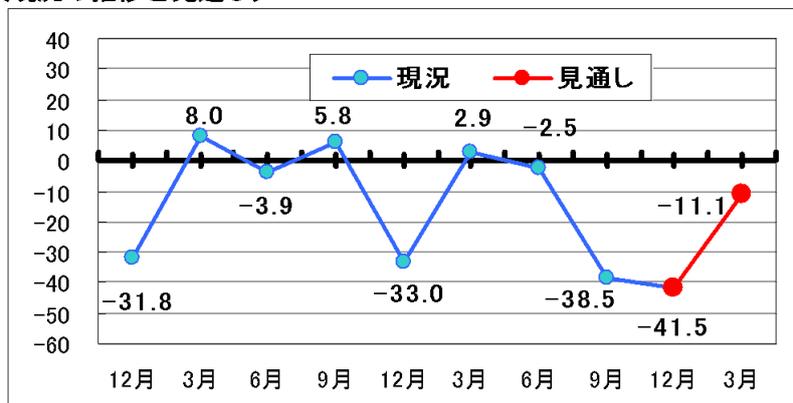
見通し(3ヶ月後)については、マイナス 11.1 と数値は改善もマイナス圏にとどまっている。

現況は調査開始以来最低であった前9月期のマイナス 38.5 を下回り、過去最低数値を更新した。

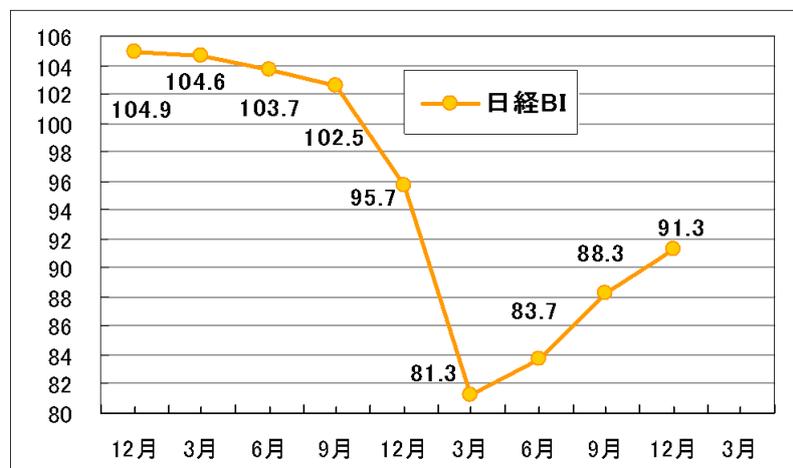
代表的な民間の景気動向指数である日経景気インデックス「日経BI」の 11 月速報値は 91.3(2005 年平均=100)となり、8カ月連続で前月水準を上回った。ただ、前月からの上昇幅は 0.3 ポイントと小さい。

11 月は構成4指標のうち2つが前月と比べて悪化した。所定外労働時間は 1.1%減と9カ月ぶりに前月を下回った。販売が振るわない卸売・小売業をはじめ、サービス関連の多くの業種で残業時間が減少した。内需の弱さが日経BIの改善ペースを鈍化させる要因となっている。

<現況の推移と見通し>



<日経景気インデックスデータ (日経BI)>



※インデックスデータは、1-3月の平均を3月に示した。直近の12月は11月速報値。

日経景気インデックス (日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標（鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率）から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
BIはビジネス・インデックス (Business Index) の略。(2005年平均=100)

全般的概要－業況判断理由と経営上の課題

■悪業績の理由、『客単価の減少』が大きく増える

業況判断を「悪い」(46.3%)と下した理由は、『来店客数の減少』(66.7%)、『客単価の減少』(21.2%)の順となっている。『客単価の減少』については、前4期の3.6%(12月)、0.0%(3月)、8.0%(6月)、8.7%(9月)を大きく上回る数値となっている。

先行き(3ヶ月後まで)の業況判断理由でも、『客単価の減少』は23.8%と高くなっている。

■全般的業況悪化で『競争激化』『時間帯・曜日などの客の偏り』が浮上

経営上の課題では、『他の同業他社との競争激化』(59.3%)が前回より15.3ポイント増加し1位に。また、『時間帯・曜日などの客の偏り』(20.3%)も前回より10.2ポイント増加し、8位から6位に浮上した。

■引き続き高い『人材教育・育成』と『メーカーの遊技機販売の縛り』

限られたお客様を巡る厳しい店舗間競争が続く中、『人材教育・育成』は継続して上位の課題としてあげられている。

『メーカーの遊技機販売の縛り』も、上位の課題としてあげられている。別項「パチンコ業界の全般的業況「底打ち」時期」にもあるように、遊技機販売方法や遊技機価格の高騰がパチンコ店経営における負担感となっている様子がうかがえる。

<経営上の課題>

項目	全体 (3月)	全体 (6月)	全体 (9月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
他の同業他社との競争激化	50.0%	44.1%	59.3%	59.3%	50.0%	75.0%
人材教育・育成	52.1%	52.5%	49.2%	51.9%	55.0%	33.3%
メーカーの遊技機販売の縛り	54.2%	45.8%	47.5%	55.6%	55.0%	16.7%
設備・運営費の増加	26.0%	23.7%	22.0%	11.1%	40.0%	16.7%
資金調達	27.1%	20.3%	22.0%	33.3%	15.0%	8.3%
時間帯・曜日などの客の偏り	14.6%	10.2%	20.3%	14.8%	35.0%	8.3%
公的な規制	21.9%	6.8%	15.3%	7.4%	20.0%	25.0%
人件費の増加	10.4%	10.2%	11.9%	3.7%	15.0%	25.0%
不明瞭な行政指導	14.6%	13.6%	11.9%	14.8%	0.0%	25.0%
人材不足・人材確保	16.7%	8.5%	6.8%	7.4%	0.0%	16.7%
組合の自主規制	2.1%	3.4%	3.4%	3.7%	0.0%	8.3%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

全般的概要－稼働状況

■パチンコ現況は悪化、小規模事業者の落ち込み目立つ

現況の稼働状況はマイナス 42.7 と、前回のマイナス 37.7 から 5.0 ポイントの悪化となった。

見通し(3ヵ月後)はマイナス 17.1 となっており、現況より大幅な改善を見込んでいるが、尚もマイナス圏にとどまっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)がマイナス 64.5、中規模事業者(4～10 店舗)がマイナス 42.1、大規模事業者(11 店舗以上保有)がマイナス 21.9 となっている。

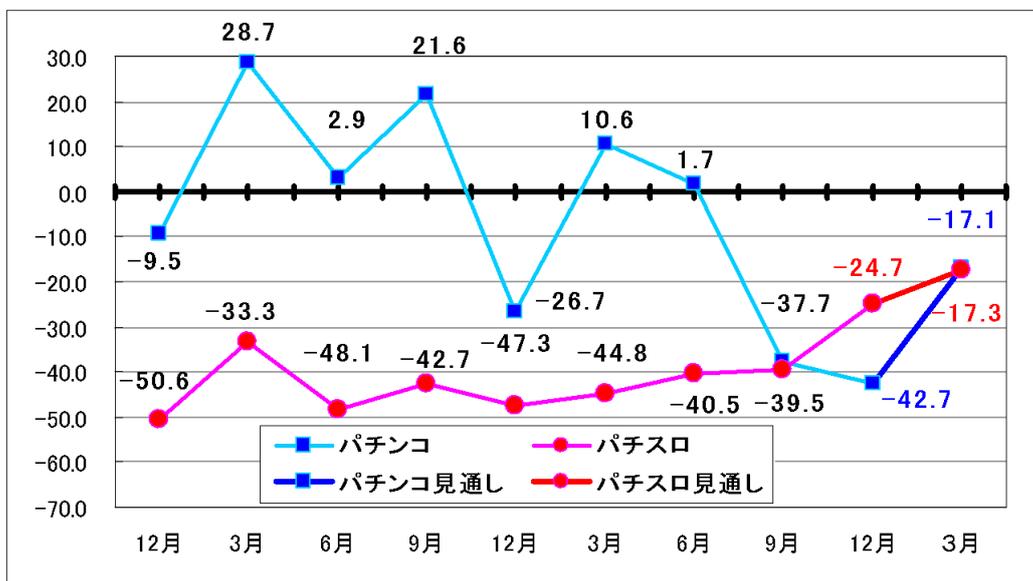
前9月期と比べると、小規模事業者は 33.7 ポイントの悪化、中規模事業者は 2.9 ポイントの改善、大規模事業者は 18.1 ポイントの改善と、小規模事業者での落ち込みが目立っている。

■2008 年 12 月期以降の回復基調維持するパチスロ市況

現況の稼働状況は、マイナス 24.7 と、前回のマイナス 39.5 からは 14.8 ポイントの上昇となっている。未だにマイナス圏ではあるものの、2008 年 12 月以降の回復基調を維持し、数値を上げてきている。

見通し(3ヶ月後)は、マイナス 17.3 と、パチンコと同様に現況より改善を見込んでいる。

<稼働状況の推移と見通し (パチンコとパチスロ) >



■低貸玉営業の健闘目につくパチンコ

2009 年 12 月期より、パチンコ全体に加えて「4円パチンコ」と「低貸玉パチンコ」に分けた稼働状況の設問を加えた。12 月期の稼働状況は下表の通りとなっており、同じパチンコでも「低貸玉パチンコ」では、現状、見通しともに稼働が良い企業が悪い企業を上回っている。

パチンコ全体の稼働状況は、「4円パチンコ」の状況に連動した数値となっていることがわかる。

<稼働状況の推移と見通し (パチンコとパチスロ) >

項目	DI 値区分		4円パチンコ			低貸玉パチンコ		
	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し		
稼働状況 (パチンコ)	—	-46.9	-23.5	—	3.2	12.9		

地域別の業況

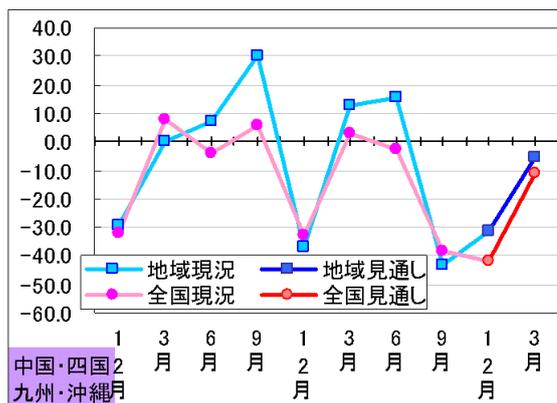
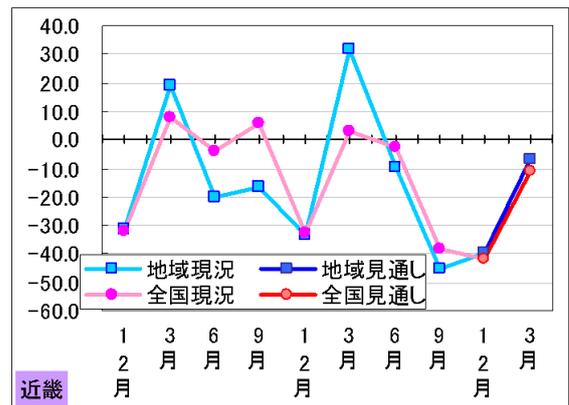
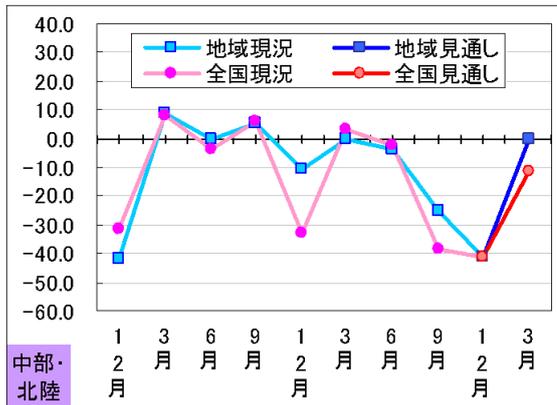
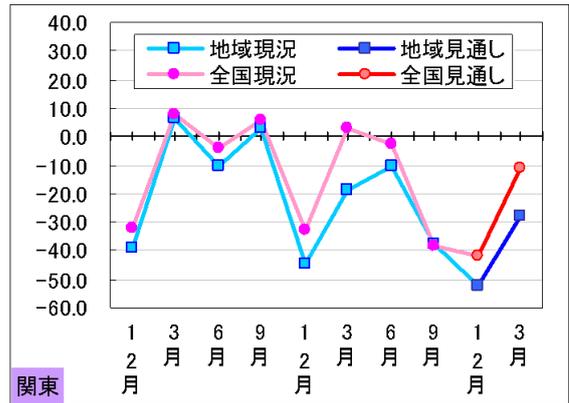
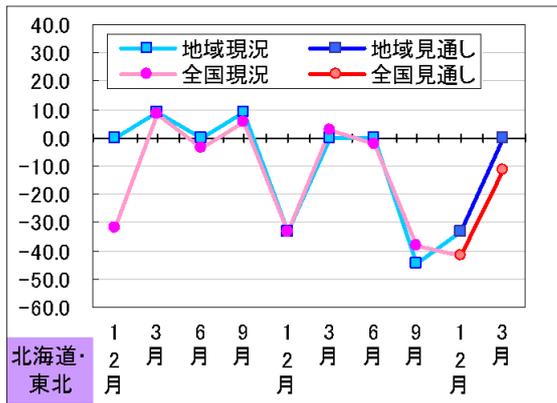
■ 全地域ともにマイナス 30 以下に、見通しは関東を除き改善を予測

現況のDI値は、5ブロックすべてでマイナス 30 以下と低い数値。最もよいのが「中国・四国・九州・沖縄」のマイナス 31.6 と、今 12 月期の状況の悪さを物語っている。

見通し(3ヶ月後)については、各地域ともに現況よりは数値を改善させているものの、「関東」はマイナス 28.0 と尚も厳しい数値となっている。

<地域別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。北海道・東北(6)、関東(25)、中部・北陸(17)、近畿(15)、中国・四国・九州・沖縄(19)



規模別業況

■ 現況は中小で悪化、大規模でやや改善

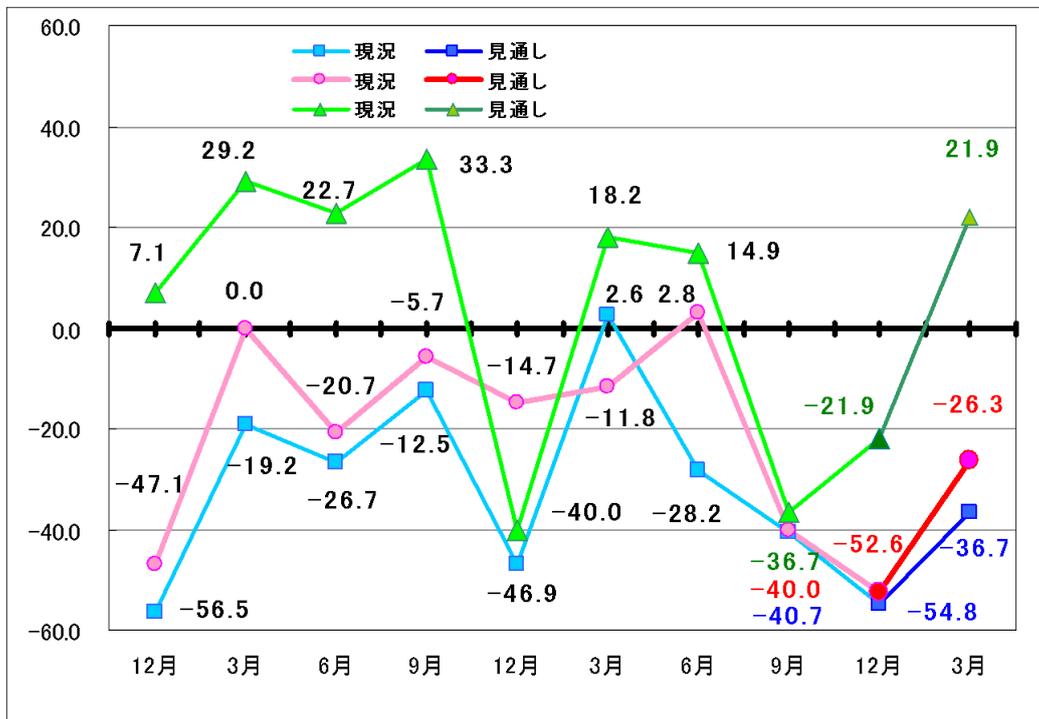
現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 54.8 と前回のマイナス 40.7 から 14.1 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス 52.6 と前回の 40.0 から 12.6 ポイントの悪化。大規模事業者はDI値マイナス 21.9 と前回のマイナス 36.7 から 14.8 ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 36.7)、中規模事業者(マイナス 26.3)、大規模事業者(21.9)とそれぞれ改善、大規模事業者のみプラス圏の数値となっている。

<規模別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。小規模事業者(31)、中規模事業者(19)、大規模事業者(32)

<規模別：業況の推移と見通し>



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

パチンコ業界の全般的業況「底打ち」時期

■ 10 年中の「底打ち」は 35%と 1/3 に留まる

ここ数年厳しい状況が続いているパチンコ業界の全般的な業況について、『底を打つ』のはいつ頃かを聞いた結果、全体では「10 年中」が 35.1%で最も多くなっているものの、全体の 1/3にとどまっている。09 年中の合計は 8.8%となっている。中・小規模事業者では、「11 年以降」との回答が3割前後でトップとなっている。業界の「底打ち」を実感できるまでには、時間がかかりそうである。

■ 時期特定できず、底打ちの「条件」は景気回復と機械代の低下

「底打ち」時期について、時期を特定せず、「ある条件が整ったとき」との回答が全体で 28.1%となっている。大規模事業者では、6割が回答している。景気回復に加えて業界構造の変化が求められている。

具体的なコメントとしては、以下のようなものが挙げられている。

- * 景気回復。デフレ現象からの脱却。遊技台価格の低額安定時。
- * 遊技機価格の低下。射幸性（遊技単価）を抑えた遊技機の登場。
- * 全国のパチンコ店が 7,000 店舗以下になったときに、規制緩和に向かうのではないかと思う。
- * 「起爆剤」の様な一時的なものでの回復はありえないと考えている。業界全体、特に遊技機メーカーと大手ホールが将来を考えて動かないとダメだと思う。
- * 弱者が淘汰され、需要に見合った店舗あるいは台数に市場が収まったときでは。

<業界全体が「底を打つ」時期>

時期	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
09 年6月以前	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
09 年7-9月	5.3%	11.1%	0.0%	0.0%
09 年10-12 月	3.5%	7.4%	0.0%	0.0%
10 年1-3月	10.5%	11.1%	15.0%	0.0%
10 年4-6月	10.5%	0.0%	20.0%	20.0%
10 年7-9月	5.3%	3.7%	5.0%	10.0%
10 年10-12 月	8.8%	11.1%	10.0%	0.0%
11 年以降	28.1%	29.6%	35.0%	10.0%
ある条件が整ったとき	28.1%	25.9%	15.0%	60.0%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10 店舗 大規模事業者＝11 店舗以上

<自社営業地域が「底を打つ」時期>

項目	北海道・東北	関東	中部・北陸	近畿	中国・四国・九州・沖縄
09 年中	3.6%	0.0%	9.5%	0.0%	25.0%
10 年中	25.5%	50.0%	28.6%	77.8%	33.3%
11 年以降	16.4%	0.0%	38.1%	11.1%	8.3%
ある条件が整ったとき	12.7%	50.0%	23.8%	11.1%	33.3%

調査結果概要 DATA

■規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-40.7	-54.8	-36.7	-40.0	-52.6	-26.3	-36.7	-21.9	21.9
2. 稼働状況（パチンコ）		-30.8	-64.5	-45.2	-45.0	-42.1	-31.6	-40.0	-21.9	18.8
3. 稼働状況（パチスロ）		-30.8	-38.7	-45.2	-45.0	-10.5	-15.8	-41.4	-19.4	9.7
4. 資本投入気運の変化（台）		-24.0	-21.4	-32.1	-41.2	-15.0	-40.0	-6.7	16.7	-16.7
5. 資本投入機運の変化（設備）		-3.8	-14.3	-25.0	-5.9	-20.0	-25.0	-13.3	-18.2	-9.1
6. 営業用設備の不足感		7.4	-3.2	-6.5	0.0	0.0	-5.3	6.7	-9.4	-9.4
7. 雇用人員の不足感		11.1	9.7	6.5	0.0	21.1	21.1	-3.4	0.0	3.1

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸					
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		-44.4	-33.3	0.0	-37.5	-52.0	-28.0	-25.0	-41.2	0.0			
2. 稼働状況（パチンコ）		-33.3	-33.3	0.0	-40.6	-60.0	-48.0	-27.3	-35.3	0.0			
3. 稼働状況（パチスロ）		-88.9	-50.0	-16.7	-30.0	-20.0	-24.0	-41.7	-23.5	-11.8			
4. 営業用設備の不足感		11.1	16.7	16.7	6.3	-8.0	-4.0	0.0	17.6	17.6			
5. 雇用人員の不足感		0.0	0.0	-16.7	0.0	-12.0	-8.0	8.3	-5.9	-5.9			
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される					
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し						
1. 全般的業況		-45.5	-40.0	-7.1	-42.9	-31.6	-5.3						
2. 稼働状況（パチンコ）		-27.3	-33.3	0.0	-50.0	-36.8	-10.5						
3. 稼働状況（パチスロ）		-36.4	-35.7	-28.6	-28.6	-15.8	-5.3						
4. 営業用設備の不足感		9.1	13.3	6.7	0.0	0.0	-10.5						
5. 雇用人員の不足感		-9.1	-13.3	-13.3	14.3	-5.3	5.3						

■資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査
資金繰り		-5.1	-8.5	-16.7	-2.4	-11.5	-17.9	-8.8	-5.9	-15.0	-4.2	-6.7	-16.7
貸出態度		-24.7	-28.1	-27.1	-17.5	-24.0	-32.1	-18.2	-17.6	-15.8	-45.8	-42.9	-33.3
借入金利		-3.1	3.5	5.1	0.0	0.0	-3.6	-3.0	5.9	15.0	-8.3	7.1	9.1

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

ホールサービスの基本を学ぶ!

ホール基礎研修

～ 新入社員向け ～

終了後、受講者の様子が分かる
個別カルテをご送付!

ホール基礎研修内容

できる社員は最初が肝心!! パチンコ店で働く仕事習慣



講義

- ・社会人としての認識
- ・パチンコ店で働く人の仕事の基本
- ・店長を育成するプロからのメッセージ
- ・「1年後の私」作文

理解度テスト実施!

研修レポート作成!



実習

ホールでのセルフトレーニング

- ・挨拶の基本徹底トレーニング
- ▼笑顔、発声練習 ▼アイコンタクト
- ▼姿勢、お辞儀

挨拶ビフォーアフターDVDプレゼント

講師紹介

エンビズ総研
人材コンサルタント

まつもと ゆみ
松本 由美

大手パチンコチェーンでの勤務経験を経て、エンビズ総研入社。接客マナー研修・カウンター研修を中心に研修事業に携わっている。

大阪

定員:20名

4月6日(火)

10:00~17:30
(昼食付)

大阪(なんば) エース電研大阪元町ビル

東京

定員:20名

4月13日(火)

10:00~17:30
(昼食付)

東京(上野) エース電研本社ビル

受講費

Aclub 会員 25,000円(税込)

一般 30,000円(税込)

申込締切

実施日の10日前まで

※入金の実施日1週間前まで

定員に
なり次第
締切り

ホームページからでもお申込みいただけます <http://www.eb-i.jp>

Aclub® 業界基準研修 参加申込書

受講する研修

大阪

4月6日(火)

時間:10:00~17:30

東京

4月13日(火)

時間:10:00~17:30

受講する研修を選択 し、
必要事項をすべて記入してください。

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

FAX 03(5688)5353

申込 担当者	会社名	経営店舗数	店舗	Aclub 会員番号	No.
	店舗名		TEL		
	住所		FAX		
	氏名	部署/役職			
参加者	氏名	部署/役職			
	氏名	部署/役職			
	氏名	部署/役職			

参加者が4名を超える場合は、この用紙をコピーしてご使用ください。

ご注意:セミナー受講費は、事前にお振り込みいただきます。会社名と振込名義が違う場合は必ずご記入ください。

振込名義人

振込予定日

月

日

お申込の流れ

申込書に
必要事項を記入して
FAXしてください。

請求書をFAXいたします。
受講費を指定口座へ
お振込ください。

入金を確認次第、
会場地図の載った受講票を
FAXいたします。

【注意事項】■申込の締切について:開催初日の10日前となります。■最小催行人員について:5名以上で実施いたします。中止の場合は、1週間前までに連絡いたします。■お申込み後、受講ができなくなった場合は実施日1週間前までにご連絡ください。受講費を払い戻し致します。1週間前以降のキャンセルにつきましては、払い戻しはいたしかねます。予めご了承ください。■申込後、3営業日以内に請求書が届かない場合、お手数ですがご連絡ください。■入金後、5営業日以内に受講票が届かない場合、お手数ですがご連絡ください。■振込手数料は貴社にてご負担願います。

※注文書に記載いただいた内容は、商品・請求書の送付や不明点の確認等に利用させていただきます。また、当社サービスの告知をさせていただくこともございます。

業界基準研修についての
お問い合わせはこちら

☎03(5688)4751 担当:金子

FAX 03(5688)5353

✉info@eb-i.jp

※お電話によるお問い合わせ:平日8:30~17:30 ※FAXまたはE-mailによるお問い合わせ:受付=24時間/返信=平日8:30~17:30



**Entertainment
Business
Institute**

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353